

教育界をめぐる動き

学校法人スコール 理事長 毛利 二郎

長かった小泉政権に変わり安倍氏による新しい政治が始まったこの秋ごろより、教育界をめぐる諸々の動きが目につき、気になることが多い。

子どもたちのいじめによる自殺が日本のあちこちで起こり、その対応に関係者は苦慮しそれは今でももちろん解決されたわけではない。幼保一元化の流れの中で岩手県でも認定子ども園の条例化が進み、来年4月より実施が始まる。高等学校の必修科目の未履修問題が突如表面化し11月の中旬には、かねてより話題になっていた教育基本法改正案が衆院を通過した。

とにかくこの業界にまつわる話題が世間で喧しく喧伝されている。世の実態とかけ離れてい

る面もあることは否定できないが、世の実態にばかり迎合することもいかなものか。他者との比較にばかり勢力を浪費していることがバカバカしさをもたらしてはいないだろうか。

幼児教育の無償化が政治日程に上がり始めたようだが、義務教育の問題を含めて、公教育の公費負担の軽減化に本気で取り組むことをそろそろ真剣に考えるときが迫ってきているような気がする。このままでは「地方の時代」は取り潰されてしまう。

我々現場に携わるものとしては、日々の業務に誠実に向き合い一人一人と親しく接するほか方法はないと思いを新たに励んで行きたいと思う。



【田沢湖近くの風景】 田口 宗一・画

平成19年度 盛岡スコール高等学校 募集要項

〈募集内容〉 学科・定員 / 総合学科 男女200名 (科目選択の際 調理師免許取得は最大70名まで)

■ 第Ⅰ期募集

出願期間 平成19年1月11・12日
 選考日 平成19年1月15・16日
 選考方法 面接・課題作文
 合格発表 平成19年1月23日
 入学手続 平成19年2月2日まで
 出校手続日 平成19年2月18日

■ 第Ⅱ期募集

出願期間 平成19年1月15～23日
 選考日 平成19年1月26・27日
 選考方法 面接・課題作文
 合格発表 平成19年2月6日
 入学手続 平成19年3月17日まで
 出校手続日 平成19年3月17日

※詳しくは 盛岡スコール高等学校事務局 (電話 019-636-0827)までお問い合わせください。



ΣΧΟΛΗ 協力会報

NO.51 [平成18年12月]

発行
 スコール協力会
 〒920-0851
 岩手県盛岡市向中野字才川2-3
 TEL.019-636-0827 (代)
 FAX.019-636-0830
 E-mail. info@schole.jp
 http://www.schole.jp
 振替口座02380-0-479



環境整備も、少しずつ前進

協力会会長 谷澤 篤則

会員の皆様お元気ですか。いつもご協力いただきありがとうございます。

学園をめぐる環境は日ごとに変化しておりますが、学校、幼稚園については何も新しい工事もない珍しく静かな1年だったようです。ただ学校の周りには、すぐ近くに巨大なショッピングセンターができた、近くに大きなスーパーが開店したりと、環境はどんどん変わり以前の田園風景とは一変してまったく新しい街の顔が現れています。事業部運営のレストラン“パタタ”もこの秋より毎週土曜日の営業を開始したようです。

学校の真ん中に残っていたバス道路も漸く来

年中には取れることが決まったようです。いまだ計画の段階で確定したものではないようですが、そうなれば正門部分の整備と幼稚園園庭の拡張などに着手することができます。農場移転やグランド整備、駐輪場、駐車場整備などまだまだ大きな工事が残っておりますが、盛岡南都市開発整備事業とともに進んでまいりました70周年記念事業も大分終盤に近づいてまいりました。

皆様方会員各位のさらなる暖かきご支援ご協力をお願い申し上げまして、年末のご挨拶とさせていただきます。どうぞよき年をお迎えください。



羊のいる幼稚園

スコール幼稚園 教頭 川村 礼子

スコール幼稚園に子ども達の人気者がいます。それは2頭の羊です。12月1日に恒例の毛刈り（今年4回目）を、子ども達が見守る中で行いました。子ども達は、丸裸のさっぱりした羊を見て、「寒くないかな」「風邪ひかないかな」と心配顔。でも、この後、羊は温かい牧場に里帰りし、来年の春には赤ちゃんを連れて戻ってくることを知らされて、安心して暫しのお別れをしました。

羊の置きみやげの毛は、まず初めに先生達が糞尿で汚れたものを取り除いて下洗いをし、その後、子ども達が洗剤で洗います。3、4、5歳のかわいい手で、何度も何度も、もみもみ洗い。ようやく、きれいになった毛を乾かします。毛染めと紡ぎは専門の方にお願ひし、カラフルな毛糸となって幼稚園に届くのは2カ月後の2月頃です。その毛糸を使って、子ども達が、織り機で卒園記念のタペストリーを作成します。「セーターは毛糸で作るんだね」「毛糸は羊さんの毛からできるんだね」など、子ども達はそれぞれの思いを話しながら作ります。そのほか、はり絵や毛糸遊びなど、年中通して大切に使っています。ものの豊かな時代にいる子ども達が、いろいろなもの（食べ物なども）が手元に届くまでの過程に興味や関心を持って、考えられる子どもになって欲しいと願っています。そのきっかけ作りの一端を我が園の羊さんが担っているのではないかなと思っています。

さて、何故、羊が当園に飼われるようになったか、それは4年前のことでした。理事長先生のお知り合いの木村さんという方が羊を飼っておられて、

飼料と干し草は提供するので幼稚園でも飼ってみたいかの提案を頂いたことから始まります。羊を育てる環境、飼育の仕方、心配や不安なことが様々有りましたが、子ども達に動物と触れさせたいという思いで、木村さんの力添えを頼りに羊を受け入れることにしました。

飼い始めの頃は、清潔第一をモットーに、うちで汚れた毛を先生方7～8人がずぶぬれになりながらシャンプーしてあげたり、毎日、羊小屋をデッキブラシで水洗いし、排水も消毒、臭いなど、さまざま気をつかいました。でも、人間にとって清潔で、心地よい環境でも、羊にとっては居心地の悪い住居のようで、羊は互いの毛を口で引っ張り合い、ストレスを表すものも見られるようになりました。これはと、木村さんにアドバイスを頂き、羊が落ち着けるよう干し草を敷き詰めた場を作ったところ、羊が落ち着くようになりました。小屋には、バスの運転手さん達手作りの庇がつき、夏場は葎簀がかけられ、暑い日差しから身を避けられるようになりました。小屋の周りにも雨の日も泥んこにならないように砂を敷き込まれ、羊ものんびり歩けるようになりました。飼育方法も、あれこれ試行錯誤しながら、羊にとっても居心地のよい環境はなにかをモットーに、考えていけるようになってきました。

子ども達も散歩に出かけた時は、「羊さんにあげよう」と草のおみやげを持ち帰って食べてもらうことを喜んだり、「メー、メー」と鳴きながら近づいてくる羊の頭をなでたり、話しかけたり



して、かわいがっています。休日の日には先生達が交替で、えさやりや掃除をして大事に育てています。毎年、スクスク育っていく羊は園にとって心がなごむものとして大きな存在となっています。

今、幼稚園の周辺はどんどん住宅が建ち並び、田園風景に囲まれていた頃とはすっかり様変わりしましたが、その一角で、幼稚園では羊やにわたりの鳴き声がして、園児が育て収穫した大根が軒下に干されています。こんなのどかな趣を残して

いくことも、近隣が猛スピードで変わっていく中でこそ、大切なことと思っています。創立当初は、向中野幼稚園の周りは田んぼや畑で、幼稚園にはゲンゴロウやザリガニの住む池がある、そこには数羽のアヒルがいて、「アヒルのようちえん」と呼ばれていたそうです。今のスコール幼稚園は別名「羊のようちえん」と呼ばれるようになるかなと思っている今日この頃です。

注文の多い料理店

盛岡スコール高等学校 教頭 田口 宗一

弟がお茶碗をひっくり返してテーブルの上にご飯をこぼした。先生が「お兄さんなんだから、拾ってあげなさいね」と言った。昔、秋田県の生保内や神代の仙北地方に自由学園の生徒さんたちが来て農繁期託児所を行った。その後、向中野学園の生徒さんがそれを引き継いだ。私と弟が出たのはどちらの生徒さん達の時だったのだろうか。中学校訪問をする度に私はこのことを思い出す。この頃はどこの中学校にもそれを覚えている先生は居なくなった。

生保内友の会の熱心な会員の娘さんの金谷さんが向中野学園に入学した。彼女は私の弟と同年であったから、今58歳になっておられると思う。彼女の人生において向中野の教育はどのような支えになったのであろうか。お話を聞いてみたいものである。

中学校訪問をすると良く話を聞いて下さって丁

寧に対応してくれる学校。早く帰ってくれないかなと言わんばかりの対応をする学校と様々である。「つとめて旅人をもてなさい」「互いに相手を優れた者としなさい」というような聖書の言葉を知っていたならばこんな粗末な対応はしないであろうなどと思ったりする。

中学校訪問をして岩手県の盛岡にこんな学校がありますと学校を紹介し宣伝する。それはそれで意味のあることであろう。しかし自分たちの学校で行われている教育そのものが優れた内容でなければそのような活動は力のないものになるだろう。私たちの料理店のメニューは多くの人が行って食べてみたいというメニューであろうか。私たち従業員のお客様への接し方は真心のこもったものであろうか。自己満足や、言葉に酔っているだけではないだろうか。考えの末は何時もそこに着く。